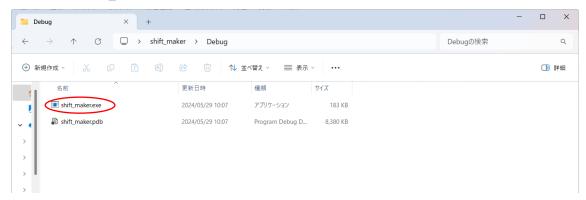
シフト作成プログラム 説明書 埼玉工業大学 工学部 情報システム学科 IT 専攻 石田光輝

プログラムを実行したい場合

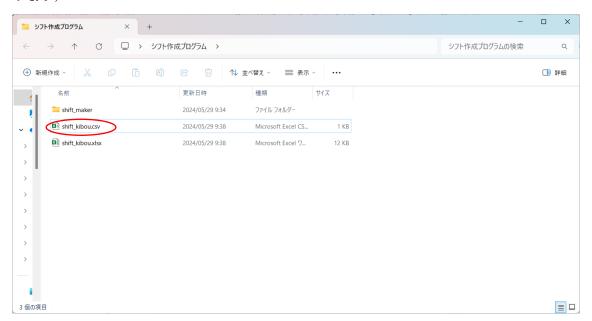
シフト作成プログラム>shift_maker>Debug>shift_maker.exe

を実行し、shift_kibou.csv のパスを指定(""で囲まない)

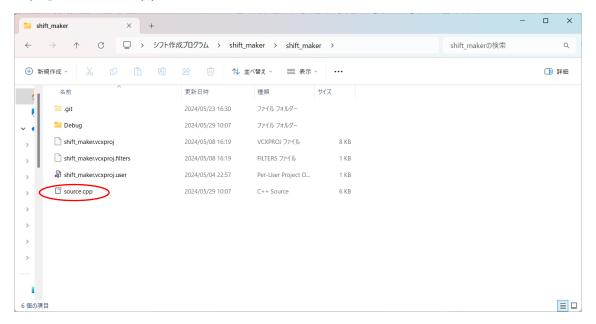


パスの例 C:\Users\Us

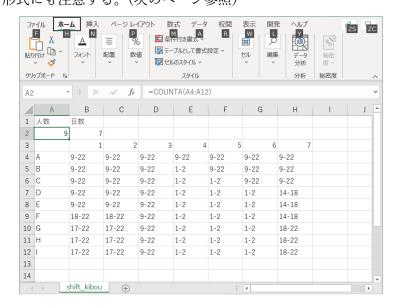
が使用する csv ファイル(csv ファイルは excel で開くとデータが書き換えられて動かなくなります)



私が作成したプログラムを確認したい場合 シフト作成プログラム>shift_maker>shift_maker>source.cpp を任意のエディタで開く



shift_kibou.csv を書き換えたい場合
shift_kibou.xlsx を開き、拡張子を csv にして名前を付けて保存する。
書き換える場合、人数や日数も必要に応じて変更する。
データの入力形式にも注意する。(次のページ参照)



データの入力について

データは、"希望を開始する時間―希望を終了する時間"の形式で、時間は $0\sim24$ の範囲の整数で入力する。(例 9 時から 14 時を希望する場合: " $9\sim14$)

必ずシフトの希望時間は空白にならないようにし、もし希望しない場合は営業時間外の時間を入力しておく。営業時間は9時~22時を想定している。

必要のないところはデータやメモを入力せず、空白のままにしておく。

実行結果

まず日数分時間ごとにシフトが割り当てられているかが 0 と 1 で出力される。割り当て済みの場合 1、割り当てされていない場合 0 となっている。

```
| CriUsers | 2013ct | Vost |
```

日数分の出力が終わると、今度は希望と同じ形式での出力が始まる。1 日 2 回以上の勤務は"+"で表現されている。

このプログラムを作成で苦労したところ

C++の練習用で作成したため言語の特性を完全に使いこなせなかった。特に学習が進み、vectorの代入の方式を途中で変更したため多少無駄な処理が混ざってしまった。